



## 「家読(うちどく)のススメとコミュニティ・スクール」

3学期の始業式で、子どもたちへ**本を読んで言葉をふやす**ことに取り組むと伝えました。

先日、図書委員会が、1月末までの読書冊数を放送で発表しました。12月までに28人だった100冊達成者が、41人に増えていました。ご家庭でも、読書の時間は増えているでしょうか。

佐世保市PTAが、今年度に主催した研修会は、家読(うちどく)を推奨する内容でした。家庭でも読書をすることで得られると期待できることは、次の4つです。

「こころが安定する」「知識が静かに広がる」「こころを耕し豊かになる」「自分の頭で考え想像力が育つ」

子どものこころが安定し、知識が広がり、相手のことを考えられるようになる。そして、自分で考えて行動するようになる。85名全員が、読書を通して言葉と出会い、さらに自分のことをうまく表現できるようになってほしい願いを込めて、家読のススメというワードを学校方針のGD(グランドデザイン)にも追記しました。(HP掲載中)

前ミライon図書館館長の池田浩(いけだこう)先生は、1日の生活を大きく変えることは難しいが、意識を少し変えることはできるというメッセージを発信されました。親子で静かに読書を楽しむ時間を作ってみられることをお勧めします。

鹿町地区(歌浦小・鹿町小・鹿町中)は、令和8年度4月からコミュニティ・スクール(CS)の組織づくりを進めます。私は、CSを言い換えるならば「学校課題を地域・保護者とともに改善する組織」だと考えます。組織作りの具体的な一歩として、6日(金)の18時30分から、鹿町コミュニティセンターホールにて、鹿町地区の未来について考える研修会が行われました。30名近くの方々が出席されました。その中には、2002年から3年間「県教育委員会指定タフな子どもを育むための実践モデル事業」が行われたときの関係者や保護者がおられました。この方々が中心になり、当時のPTA役員や今の自治協議会や民生委員などの地域代表が加わったスクールエリア(SA)推進委員会が設立されました。今も、3校それぞれのSA推進委員会と3校代表による鹿町SA推進委員会が存続しています。

「タフな子ども」とは、困難にくじけない強さと人を思いやるやさしさを併せもち、夢の実現のために粘り強く努力する子どもを指しました。20年以上が過ぎた今、もう一度、鹿町地区で子育てを捉え直す動きとしてSAをCSとして再編しようとしているのです。

「タフ事業 鹿町」と打てば、どのような実践が行われたのかについて、すぐわかる時代です。講師でCSマイスター(専門助言者)の西祐樹(にしゅうき)さんは、当時と同じことをするのではなく、今の学校課題を改善していくことで、学校と家庭と地域の価値を上げることができるという内容を話されました。

地域・保護者・学校は、子どもを支える成長応援団です。どうぞ2月、3月も、全ての子どもの違いを認め、共に育ててくださいますようお願い申し上げます。

### 2月のおもな予定

1日(日) 少年の日  
3日(火) 新1年生入学説明会  
4日(水) 1年生と青い実幼児園交流  
5日(木) 鹿小 SA 推進委員会  
PTA 運営委員会  
10日(火) 5年生と新1年生交流  
17日(火) 登校班編成  
19日(木) 食育の日 徳育の日  
20日(金) 授業参観・懇談会  
学校保健委員会  
27日(金) お別れ集会・校旗継承式

### おめでとうございます

令和7年度長崎県学校保健会「よい歯の学校努力賞」に選ばれました。先日、賞状が届きました。



### 3月のおもな予定

1日(日) 少年の日  
9日(月) 特別日課開始  
12日(木) あいさつ運動  
13日(金) 鹿町中学校卒業式  
18日(水) 第79回卒業証書授与式  
24日(火) 修了式・離任式